

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 8 4 号

平成 24 年 10 月 30 日

発行元
岡山県立
高松農業高等学校tel
086-287-3711
fax
086-287-3713

開礼台

備中高松城下町かわら版

発行 8 周年を記念して

校長 石田 正人

今年の夏は、ロンドン一色だった。本誌の創刊は、平成十六年、アテネオリンピックが開催された年の九月だ。創刊のきっかけは、地域にもっと学校のことをお知らせすべきという学校評議員会のある委員さんからの意見であった。創刊当初は学校の様子ばかりではなく、町の声も掲載した。このかわら版を通して、この備中高松に暮らしている人々に話題を提供できればと思った。実際は、本校の記事満載といったところだが、本校に直接関係のない方々にも、この町の人なら手にとって見てくれるものを目指した。だから、発行時に最も悩んだのは本誌の名前だった。地域向け情報誌ということと町が一体感を持って欲しいという願いを込めて、城

下町」という言葉を使いたかった。しかし、実際にこの備中高松を城下町と呼ぶ人はいない。そこで、当時創刊に携わっていた私は、備中高松の郷土史の第一人者である清鏡庵の林信男氏に相談に行った。発行の直前のことである。すると林さんは、いつものように柔和な表情でこうおっしゃった。「備中高松城は戦いのためだけに作られた城だったが、当時の資料によるといから城下町と言えるものもあったと思う。何より、当時を知っている人は誰もいないのだからいいんじゃないか。」とおっしゃった。私は、林さんが認めてくれたと思った。かくして「備中高松城下町かわら版」が誕生したのである。毎年九月になるとこの日のことを思い出す。林さんには本当にお世話になった。現在も、当かわら版の執筆は、本校教頭先生が担当し、全校生徒・保護者の方はもちろん、地域の方々には十五名の報知集会委員生徒諸君と教頭先生の手によって町内四十三箇所にお届けしている。これから本誌をよりよくお願いいたします。

"I Have A Dream."

～ インターンシップに挑戦しました！～

夏の長期休業を活用して、生徒たちは様々な場所でインターンシップ(就業体験)に取り組みました。畜産科学科では 2 年生が、ペットショップ、動物園、実験動物事業所、牧場などで学科の専門性を生かした実習に汗を流しました。

この体験は将来の進路決定の大きな材料になります。あこがれの仕事に就くにはどうすればいいのか、実際の仕事内容はどうか、長期間の実習期間を通して生徒たちは様々なことを学びました。



～ 進路決定へ一直線！～

9 月 16 日より来春卒業予定の高校生対象の就職試験が開始されました。一般に言われているように、高校生を取り巻く就職状況は昨年に引き続き厳しいものがあります。しかし暑い夏に頑張った、受験勉強、履歴書の作成、面接練習・・・すでに多くの合格通知も届き、3 年生の就活もいよいよ佳境に入っています。

また 10 月に入り、進学に向けての受験も本格的に始まりました。4 年制大学、専門学校、農業大学校など希望する学校への合格を目指して、生徒の熱い挑戦は続きます！

第 67 回国民体育大会「岐阜清流国体」報告会

- ライフル射撃競技 少年女子ビートライフル立射 40 発競技優勝 園芸科学科 3 年 水川 愛 さん
- " " " 20 発競技優勝 " " 水川 愛 さん
- ライフル射撃競技 少年男子ビートライフル立射 30 発競技 7 位 農業土木科 2 年 水内 文哉 君
- レスリング競技 少年フリースタイル 96kg 級 第 2 位 農業科学科 3 年 近藤千加良 君
- " 少年グレコローマスタイル 120kg 級 第 5 位 農業土木科 3 年 柏本 心 君



10 月 9 日(火)、国体から凱旋した選手たちを囲んで報告会を行い、全校あげてその栄誉を祝いました。

石田校長先生から各選手の戦績紹介があり、その後 4 名の選手が一言ずつ挨拶しました。各人からは、全校生徒の応援に対するお礼の言葉とともに「今後もそれぞれの進路でさらなる精進を続け、大きな目標に挑戦していきたい」との力強い意気込みの言葉が聞かれ、盛大な拍手に包まれました。全校の生徒、職員にとって、大きな誇りと勇気になりました。

11 月の行事

- 2(金) アイラブ交流会
漢字検定
- 3(土) まちはなフェア(岡山市)
- 10(土)～11(日) 全国産業教育フェア
岡山大会「さんフェア岡山 2012」
(桃太郎アリナ・商大附属高校)
- 16(金)～17(土) 高農祭
- 17(土) 第 2 回同窓会役員会
- 19(月) 11/17 の振替休業日
- 20(火) 農業クラブ岡山県大会(勝間田)
- 23(金) 勤労感謝の日
- 25(日) ワープロ検定
- 27(火) ケアハウスでの交流会
- 29(木) 学科別集会
- 30(金) 役員選挙(生徒会・農ク・家ク)

高農スリース
ハートフルプロジェクト

10 月 20 日、本年度第 3 回の高農開放講座が開催されました。今回は本校の保護者をはじめ地域の方々も参加してください、生徒と一緒に「ハングングバスケット」作りを楽しみました。また、講座の後半では、本校が昨年からの取り組みである「スリースハートフルプロジェクト」で製作・管理している備中高松駅構内の立体花壇の植え替えを行いました。この取組は、本校生徒が利用する備中高松駅から学校までの通学路を舞台として、「景観創造(landscape)」や「起業学習(business)」、「社会教育(social)」に取り組み、夢のような地域社会を創り出すことで、本校生徒がスポーツに躍動し、勉学に励み、豊かな人間性や感性を養うことを目標とし、3つの「S (Station・Street・School)」を掲げて取り組んでいるものです。

" I Have A Dream. "

～ インターンシップ から進路実現に ～

畜産科学科 3 年 麻原有矢 君は、このたび J A 畜産美星農場を受験し、見事内定。かねてからの夢の実現に一步踏み出しました。課題研究でミニブタの調教に取り組んでいる麻原君。養豚の仕事に就きたいという夢を持ち、5 月に同農場で 4 日間のインターンシップに挑戦。学校の数十倍もの規模の農場で、手際よく除糞から切歯や断尾、去勢等を行うプロの仕事ぶりに感動して帰ってきました。自分もあの様になるようにしたい、あの農場で働きたいという願いが通じたのか、求人をしていただきチャンスを生かすことができました。『夢は諦めなければ叶う』内定の報告に来てくれた彼のその目には、逞しささを感じる事ができました。



本校では、地域を支える人材として自己形成できる能力や態度を育成する「岡山県地域人材育成事業」に取り組んでおり、その一つの取組として、生徒の夢を実現するための長期のインターンシップを推進しています。

収穫の秋本番「農業科学科 1 年 稲刈り実習」



10 月 3 日（水）、農業科学科 1 年生が本校の稲刈りのトップを切って、餅米の手刈り実習を行いました。

先生から稲の持ち方、鎌の使い方、刈り取った稲を束ねて藁で結わえる方法等を習い、全員で 1 枚の田を収穫。数人は家で稲刈りの経験はあるものの、殆どが鎌を使うのは初めて。最初は「へっぴり腰」で恐る恐る刈っていましたが、一人一人刈り取って束ねた稲を先生にチェックしてもらい、やっとのことで「合格」をもらう頃にはなかなかどうして様になっていました。

周囲の安全に配慮しながら鎌を使い「ザクッザクッ」と刈り取る際の感触は、生徒たちの身体にしっかりと記憶されたことでしょう。

刈り取った稲は昔ながらの「はざかけ（はざかけ）」にして天日乾燥。本校の稲刈りは、この後 10 月いっぱい続きます。



平成 24 年度 高農体育祭

9 月 25 日（火）、本年度の高農「体育祭」を開催しました。好天にも恵まれて多くの来賓や保護者の皆さんも来校され、最高の体育祭となりました。

夏休み後半から科毎に工夫を凝らし、準備・練習を重ねてきた応援看板や集団演技。学年毎に得点種目を競い合い、なりふり構わずガムシャラに力を出し切る懸命な姿には、若者らしいすがすがしさを感じられました。

応援席看板は、1 位：園芸科学科、2 位：畜産科学科、3 位：食品科学科、4 位：農業科学科、5 位：農業土木科。

集団演技は 1 位：園芸科学科 3 年、2 位：畜産科学科 3 年、3 位：園芸科学科 2 年。総合優勝は園芸科学科でした。



射撃部・レスリング部が県教育長を表敬訪問

第 50 回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会（7 月 30 日：広島県）
チームライフル優勝 園芸科学科 3 年 水川 愛 さん

第 28 回全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会（8 月 19 日：福岡県）
96kg 級優勝 農業科学科 3 年 近藤千加良 君



8 月 29 日、夏の大会で全国優勝を成し遂げた水川さん、近藤君の両名が岡山県教育委員会を訪ね、竹井教育長に「全国制覇」の栄誉を報告しました。

教育長にそれぞれが大会の様子を報告し、全国優勝の賞状を見てもらいました。教育長からは、「この秋の岐阜国体での活躍を期待しています。今後も日本代表を目指して精進してください」と、功績をたたえられとともに、激励をいただき、記念品をいただきました。

両名の次なる目標は「秋の国体」制覇です。

高農の逸品 No.17

校内生産・加工品

12 年前から、本校畜産部で飼育しているセイウミツバチ。年間の採蜜量は約 10 kg。味、香りとも最高で、例年「秋のふれあい市」での販売で、あっという間に売り切れています。

